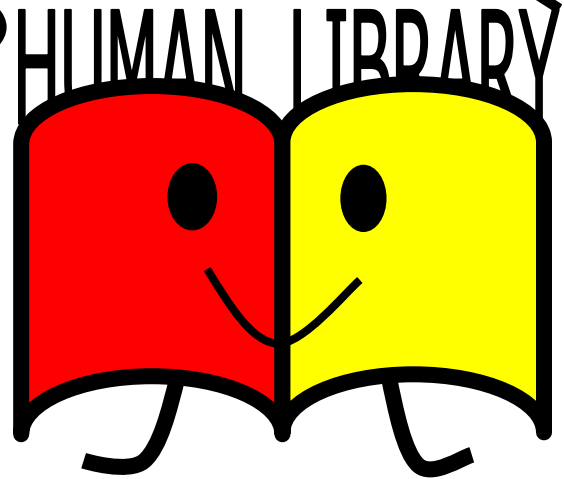


それどんなもの？  
まずは体験してみよう



ヒューマンライブラリー: 社会的マイノリティに対する偏見を減らすため、相互理解を深めることを目的とし、「人」を「本」に見立て、「読者(参加者)」と「本(社会的マイノリティ)」が対話をする取り組みです。

2000年にデンマークの若者たちが、北欧最大の音楽祭であるロスキレ・フェスティバルで始めた「人を貸し出す図書館」がはじまり。

この新しい試みは、欧州評議会(Council of Europe)を巻き込みながら発展し、瞬間に世界中に広がりました。現在では日本を含め70カ国以上で開催されています。

## 5冊の中からあなたの読んでみたい「本」を選んでください。

BOOK 1  
ただいま  
育児休暇中  
**育児って  
何でしょう。**  
福島 雅志さん  
小学校教員

●ストーリー●  
結婚13年目にして娘を授かる。男の自分は「産休」はとれないが、「育休」はとれるだろう。一度きりの人生。チャンスがあるならやってみよう。「大変！」かもしれないけれどやってみないとわからない。僕はそんな気持ちで7か月の育児休暇をとりました。職場復帰を目前にいろんな葛藤の中で感じたことをふりかえりながら「育休」とは何か一緒に考えさせてください。

BOOK 3  
LGBTの  
活動現場から  
**多様な性を  
知ってほしい**  
鈴木 富美子さん  
プライド岡山代表

●ストーリー●  
性のあり方、セクシュアリティは「女」「男」に二分できないグラデーションで、一人ひとり違います。だから、あなたが他のひとと違っていても悩まないで。あなたがかけがえのない存在で、けっして一人ではないことを伝えたいと思って活動しています。多様性を受けとめて誰もが生きやすい、包容力のある社会にするためにできること、考えてみませんか？

BOOK 2  
セクシュアリティとは  
自分への問いかけ  
**知らない  
自分を知る**  
八田 凜子さん  
プライド岡山事務局

●ストーリー●  
セクシュアリティの問題は、LGBT=マイノリティとされる人のことを考えるんじゃなくて自分自身を問い直すこと。性的指向や性自認にかかわらず、あらゆる人が自分自身を肯定できる社会を実現したい！そんな想いでアライ(支援者)として活動する日々をお話します。

BOOK 4  
子どもの貧困  
なんとかしたい！  
**子どもの居場所は  
私の居場所**  
紀 奈那さん  
一般社団法人  
子どもソーシャルワーク  
センターつばさ代表理事

●ストーリー●  
「子どもの貧困」という言葉を聞いたことはありますか？私は大学3年から貧困家庭の子ども達を支援する活動をはじめ、大学4年の時に法人を立ち上げました。今回は私たちが運営している「倉敷トワイライトホーム」の取り組みや今の想いなどについてお話させていただきます。

BOOK 5  
還暦アーティストへの道  
**私がフリーダ  
カーロになった日**  
長光 真弓さん  
美術家 キャンディ

●ストーリー●  
保守的な家庭で育ち、引っ込み思案だった女の子がアメリカ留学を機にロックな生き方にシフト。自由な人生スタイルに。家族の理解のもと、わが道をばく進する中、還暦を迎えたのをきっかけに、次なるステップ、京都の美大(通信制)に入學し創作の道へ。そして今、3回の個展を開催し、夢だったアーティスト・キャンディの道を歩んでいます。

- 参加ルール●  
敬意をもって「本」をたいせつにすること。  
\*詳細は当日お伝えします。  
●当日は？●  
①申込時間の10分前までに受付へお越しください。  
②参加同意書に署名し、参加登録後、読者カードを受け取ってください。  
③スタッフが会場へご案内します。



\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

